



1375 5年「食塩やミョウバンをもっと溶かすには」2/14

- 今日はたくさん実験ができてよかったです。班で協力がたくさんできました。食塩がたくさん溶けたのでおもしろかったです。Aさん
- 食塩はいっぱい溶けるけど、ミョウバンはぜんぜん溶けないことが分かりました。Bさん
- 食塩とミョウバンを水50mLに溶かしたら、溶ける量には限りがあることが分かりました。Cさん
- 私のペアは、いつも平均の量でした。しっかりできたのでよかったです。Dさん
- 実験本番でしっかりできたのでよかったです。だいたいクラスの平均に近かったです。Eさん
- ★ この実験では一番数の多かった結果を学級の値としました。
- ★ 気持ちが落ちついていないと、溶かす量の競争になって結果がバラバラになります。
1組は食塩9(杯)、9、9、9、8、8。ミョウバンは3(杯)2、2、2、2。
よくそろいました。2組も二つ目の実験ではよくそろいました。すばらしい!



1376 「福島からの報告」1/24 *報告を再構成しています。

震災後、双葉中学校にで戻ってきた生徒は0.6%です。
原発から60km離れた地域(三島から高知県高知市の距離)でも2014年に学校が休校しました。

700~800人の小中学生が香川県以外の全国に散り散りになりました。今は3人だけ残っています。一年のうち2~3回転校している子どもがいます。双葉町生まれであることを知られないようにするためです。

ひょっとすると自分のクラスにいるかもしれないという意識が必要です。

原発製造業に関わった講師から講演後に聞いた話です。

全体の場面では言うのは厳しい話だけど・・・

内部被曝(体の中に入った放射性物質が出す放射線の被害)は測れません。自然界の放射線は46年億年たって安定しています。しかし福島原発の事故の放射線は1年半経っているけれど変化しています。今、放射線の量を測っている40箇所の放射線の値は、私が仕事をしていた頃、手袋を四重にして厳密に仕事していた時の値と同じです。

- ★ 自分の責任ではないのに、東京電力の原発事故のために、故郷を明かせない子どもがいます。





1377 「女川原子力発電所の事故」1/25

○女川町議 阿部美紀子さん

女川原発は地震当時、5系統の補助電源のうち4系統がだめになりました。

電源が全て失われると東京電力の福島原発と同じ事故を起こします。

その後の台風で5系統のうち一つだけ残ったけど、それは前回生き残った電源と違うものでした。福島原発とは紙一重でした。

* 愛媛県にある伊方原子力発電所でも事故。

1/12 核燃料を原子炉から取り出す作業中、反応を抑える制御棒1本を誤って引き上げる。

1/17 広島高裁が、活断層・阿蘇山噴火の影響を考慮して運転停止命令。

1/20 プールに保管中の燃料を点検用ラックに入れる際、ラックの枠に乗り上げる。

1/25 定期検査中、ほぼ全ての電源が一時的に喪失。原因は不明。

★ 「事故が多いなあ。」が正直な気持ちですが、事故を公開している姿勢はいいですね。

でも、25日の「ほぼ全ての電源喪失」の原因が不明なことは強い不安が残ります。伊方原発で爆発が起これば、放射能は偏西風に運ばれ、四国中央市の影響は0にはなりません。



1378 3年「N極とS極が向く方向は」2/17

○ 実験で、「くくる」を使ったけど、早く「くくれる」ようになりました。水に浮かべる実験でぬれたけど、ちゃんと実験できました。Aん

○ 理科がある日は、すごくうれしいです。実験が楽しいので、毎日あればいいなと思います。Bさん

○ ぼうじしゃくとU字がたじしゃくが方位じしんと同じことがわかりました。Cさん

○ Nきょくは北を向いて、Sきょくは南を向いているのがすごかったです。Dさん

○ 予想があたっていたのでよかったです。エンピツを使った実験がむずかしかったです。Eさん

○ 初めは理科がむずかしくて苦手なときもありました。かんたんではないけど、楽しいこともあるとわかりました。Fさん

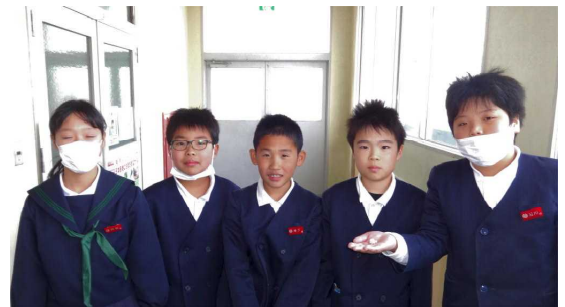
★ 「くくる」「むすぶ」「バランスをとる」は生活の中の基本的な操作です。練習しましょう。





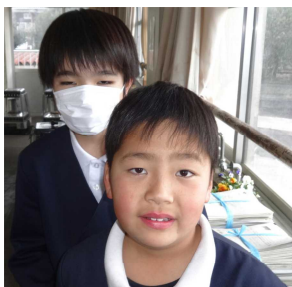
1379 6年「これは何の骨？」2/19

6年生が運動場で拾ったものを見せに来ました。
 「何かの骨かな？どこの部分かは分かりません。」
 授業では6年生理科の振り返りテストです。
 テストにはサンゴの写真がありました。
 「先生、これに似ています。」
 「あっ、そうだね。ここの筋からサンゴかも。」
 「先生、珍しいですか？」
 「高知の海とか南予の海にいっぱいいるよ。」
 「でも貝かも。ウニの殻の一部かも。」
 「それは値段が高いですか？」
 「いや、どこにでもあります。」
 お金になるかが知りたかったようです。
 「でも、海のものはどうして運動場に？」
 「そうだね。工事の砂に紛れていたのかも。」

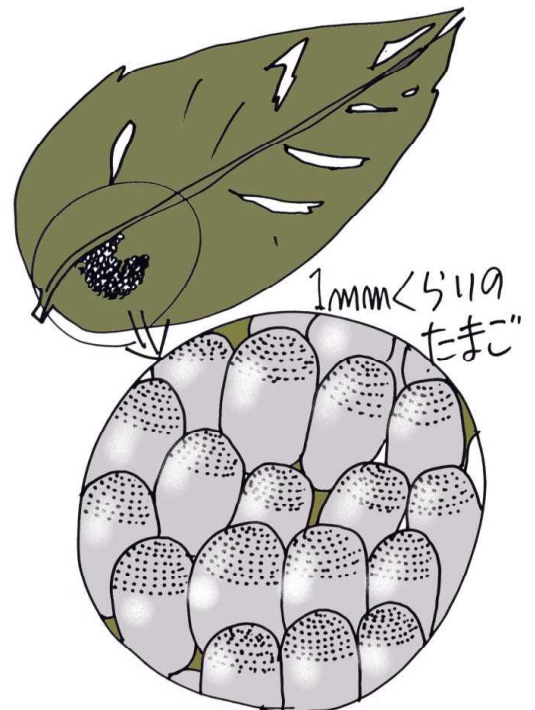


1380 4年「これは卵ですか？」

4年生の二人が枯れ葉を見せにきました。
 「先生、運動場にありました。これは卵ですか？」
 葉には粒がたくさんついています。
 「たぶん卵です。昼休みにおいで。顕微鏡で見せてあげる。」
 4年生は「ウズラの卵」と表現していました。
 少しだけ長細い形。長い方が約1mm。
 色は灰色。半分くらいまで点々がついています。



「白いガがそばにいました。」
 「では、そのガの卵かもしれないね。」
 運動場には不思議な物が時々落ちています。



★ 見せに来るのはいいのですが、「後でおいで。」と帰すと、そのままになっている人たちがいます。いつまでも理科室に置いておけませんよ。



1381 5年2組「水の量を増やすと・温度を上げると溶ける量は」2/17

- ミョウバンはとても溶けにくかったです。食塩は溶けやすかったです。Aさん
- ミョウバンはとても溶けにくく食塩は溶けやすいことが知れました。粉は全て同じ溶け方をすると思っていたのですが違いました。Bさん
- ペアで完璧に協力できました。Cさん
- 置いていたら固まると初めて知りました。家で試してみたいです Dさん
- 最後の冷えてミョウバンはどうなるかにびっくりしました Eさん
- 温めながら溶かしたミョウバンは溶けやすいと思っていなくて、びっくりしました。しばらく置いておくと固まっていた。食塩は全然溶けなかったので不思議でした。Fさん
- 火傷せずペアで交代しながらできたのでよかったです。Gさん
- この前は食塩の方がたくさん溶けていたけど、今回はミョウバンの方がたくさん溶けていたのでびっくりしました。Hさん



1382 3年「木の枝とウグイス」2/20

3年生が職員室に私を訪ねてきました。
袋から出したのは長さ20cm、直径5cmくらいの木の枝。でも皮だけで、中身はありません。見事に筒になっています。

「どうして拾ったのですか？」
「総合的な学習の時間で薬研の滝に行く途中で拾いました。」
「どこで拾ったかをクイズにしたけど、すぐ当てられました。」
枝はサクラ。サクラの皮は丈夫なので工芸に使われています。ウグイスの話も出ました。

「先生、ウグイスが死んでいるのを見つけました。」
「それは何色でしたか？」「緑色です。」
「目のまわりは白でしたか？」「白でした。」
「それはウグイスではなくメジロです。」
ウグイスはウグイス色ではありません。茶色。
「鳴き声がきれい」だから「姿もきれい」の勘違いです。

